

# 小沢介三氏 南部町初の「名誉町民」



平成21年第1回定例議会において、町長から名誉町民として推挙された、前町長の小沢介三氏が最初の「名誉町民」として、町議会全員の同意で決定されました。

小沢氏は、旧南部町の議会議員を経て、昭和61年10月旧南部町長に当選、以来合併時の初代町長として平成19年4月までの6期20年余り町政の執行者として尽力されました。

その間、堅実な行財政運営に配慮しつつ、生活基盤の安定と南部町方式と言われるまでの福祉行政を推進し、地方行政推進のリーダーとしてその手腕を遺憾なく発揮されました。

特に、町村合併の緊急性と必要性にいち早く呼応し、平成15年3月に山梨県内では第1号となる合併を成し遂げた行動力と決断力は、国や県から高い評価と賞賛を受けました。

在任中の主な実績としましては、無医町となった旧南部町に「医療センター」を整備した後、健康管理施設「ふれあいサロン」を併設し、障害者作業所としての「あじさい工房」や「ふきのとう」及び民間老人福祉施設「南部の郷」を誘致するなど、福祉村構想の端緒



を開きました。さらに、

峡南広域行政組合の施設である養護老人ホーム慈生園内に、町独自の施設として「デイサービスセンター」を設置し、他町に先駆けて在宅福祉行政の推進に多大な貢献をされました。

また一方では、教育と文化の振興に意を尽くし、牧歌的な理想郷を目標とした「アルカディア南部構想」を推進し、その一環として、体育振興のメッカとなるべき「スポーツセンター」や、本町の芸術文化の殿堂となる「文化館」を整備しました。

合併後は、庁舎機能を併せ持った「文化ホール」を完成させ、これにより町民が一堂に会して、一級の施設で高い水準の芸能等を鑑賞できることが可能となりました。

また、町民の強い要望に応えて建設された「アルカディア聖苑」は、その素晴らしい景観と相俟って内外から絶賛されているところである。



ります。

これら数々の自治功労とともに、

両町の合併によって生じた各種行政施策の手法の相違を、

短期間のうちに円滑に調整し、修正することによって巧みに町民感情の融和を図った功績等により「名誉町民」として推挙されたものです。



# 平成21年度 当初予算

## 一般会計

# 52億8,000万円

平成21年度一般会計当初予算ほか、特別会計10会計が3月定例議会で議決されました。

一般会計予算は52億8千万円で、前年度より5億42百万円(9.3%)の減額となりました。減額の主な理由は、町道楮根南部線の完成による道路改良費の減、公債費繰上償還分の減、指定管理者制度導入等によるものです。本年度予算は、町民サービス及び福祉施策を充実させつつ、情報通信施設、防災対策強化等の基盤整備に重点を置き、限られた財源の効率的な活用に努めながら事業を進めていきます。

## 歳入

百年に一度の不況と言われる中で、町税は法人税割の伸び悩み等による減収が予想され、前年度比2.1%減の940,748千円となっています。歳入の46.6%を占める地方交付税は地域雇用創出推進費の創設など地方財政対策を勘案し、前年度比0.5%減の2,705,000千円を計上しました。また、交付税の代替措置である臨時財政対策債を含んだ実質ベースでは前年度比3.7%増となっています。町債は613,000千円を予定し、過疎債、合併特例債及び臨時財政特例債と、何れも町に有利な交付税措置のあるものとなっています。また、20年度国の

第2次補正緊急対策予算により21年度予定事業の一部を前倒したため、財政調整基金からの繰入れを行うことなく将来の財政需要に備えるための堅実予算となっています。

## 歳出

歳出予算を目的別にみると、最も構成比の高いものは公債費22%で、以下民生費18.9%、総務費13.2%、土木費12%の順となっています。町債は交付税措置がある有利なものも大部分で、償還金は一部繰上償還を行ったこともあり、前年比8.2%減となり、残高は順調に減少してきています。少子高齢化が進み福祉関係予算と住民サービ

## 会計別 予算額一覧表

(単位:千円)

会計名	予算額
一般会計予算	5,280,000
簡易水道事業特別会計予算	343,810
指定居宅サービス特別会計予算	61,196
国民健康保険特別会計予算(事業勘定)	977,071
国民健康保険特別会計予算(南部直診)	225,218
国民健康保険特別会計予算(万沢直診)	75,992
老人保健特別会計予算	1,075
介護保険特別会計予算	875,381
後期高齢者医療特別会計予算	231,404
睦合財産区特別会計予算	1,262
富沢財産区特別会計予算	3,112
大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計予算	398
大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計予算	159

## 本年度の主な事業

スの向上のための予算を充実し、各種インフラ整備を計画的に実施する予算となっています。

今後の社会経済情勢を含め、町の行財政を取巻く環境は厳しい中ではあります。経常経費の削減に努めると共に、住民生活に直結する施策や緊急度の高い事業に重点配分した予算編成となっています。

☆町営バス運行エリアを拡大し、中学生まで無料化されます。

☆母子保健では、子育て支援事業医療費助成金(窓口無料化)の対象を中学3年生まで引き上げます。また、妊婦健診を14回実施すると共に、新たに不妊治療費助成金を創設します。

☆障害児通学等助成事業の充実。

☆情報通信基盤整備事業が23年度まで

の継続事業として、光ファイバー敷設等の準備が進められます。

☆月夜の段鳥獣の森整備や鳥獣保護管理補助の増額など有害鳥獣対策が強化されます。

☆町道6路線の改良工事及び農道2路線等の道路整備が進められます。

☆耐震性貯水槽5基設置と、消防ポンプ車1台・防災無線機70台・非常用簡易トイレ25基を購入し、防災対策強化が図られます。

☆児童生徒3人目以降の学校給食費を無料化します。

## ○簡易水道

今年度の主な事業としては万沢簡易水道、中野本郷宮農飲雑用水簡易水道、梅島宮農飲雑用水簡易水道の改良工事を実施する予算となっています。

今後は維持管理費及び起債償還金等も増加しつつありますので、使用料金の見直しが必要となると思われます。